

京都教区時報

<https://www.kyoto-catholic.net/>

カトリック京都司教区
広報委員会

京都市中京区
河原町通三条上る

TEL 075-211-3025

FAX 075-211-3041

honbu@kyoto.catholic.jp

第9回 戦後80年 世界の平和構築に希望を見出す

今年は戦後80年、あの戦争を体験した人々の高齢化が進み、存命者の数も急速に減る中、二度とあのような戦争を繰り返すことなく、世界に平和な未来を築くため、戦争体験の継承が急務だとの認識も広がっています。80年前の戦争をメディアも様々な角度で取り上げ、多様なグループが各地で戦争体験を伝えるイベントを開催し、過去の体験を伝えていきます。これらの情報を通じて、「あの戦争を忘れてはならない」「戦争を知らない世代に、戦争の実態を伝えよう！」との思いがひしひしと伝わってきます。

私は、8月23日から27日までの5日間、京都市中京区の地下街、ゼスト御池寺町広場で、京都原水爆被災者懇談会などの団体で構成された「原爆写真と原爆の絵」展示会実行委員会主催の「被爆80年『ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間写真展』及び、高校生と被爆者との共同制作による『原爆の絵展』」を観て、平和な未来に繋がる希望を感じました。「原爆の絵展」は、広島市立基町高校の創造表現コースで学ぶ生徒さんのうち、希望者が被爆者から被爆時の忘れられない体験の話を聞

2025年 司教年頭書簡
すべての人と
希望の巡礼者となろう
を受けて



き、それを絵に仕上げた作品の展示です。自分が体験していないことを、話を聞くだけで絵にすることは並大抵ではありません。それは、被爆者の体験がある意味自分自身の体験にすることです。描いたものを何度もご本人に見てもらい描き直すのですが、完成までに半年から1年はかかるそうです。

このプロジェクトは2007年に始まり、第18回目になる今年までに222点の作品が完成しています。証言者と絵を描いた高校生がそれぞれの体験と想いを語る映像は、左記のQRコードから読み込むと観られますのでどうぞご覧ください。

被爆証言者と共に絵を描いた基町高校の生徒さんや卒業生の皆さんは、平和学習のために広島を訪れる中学生のグループにも出会い、被爆者の方との共同制作の体験を分かち合う機会を作っているそうです。ここにも、戦争を知らない世代に戦争体験を伝える営みへの希望の道筋が見えるのではないのでしょうか。

ノートルダム教育修道女会 シスター鎌田論珠



2025年度版

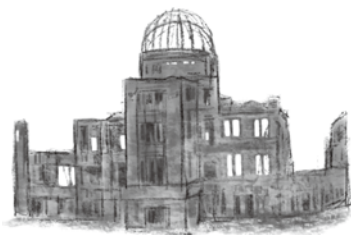


2024年度版

11
2025

基町高校 原爆の絵

検索



信仰教育委員会主催 2つの「せいねん」の黙想会 報告**青年のための1泊黙想会 「イエスとの親しさを求めて」 8月30日(土)～31日(日) 望洋庵**

酷暑が続いていた8月末、北村善朗神父の指導による「青年のための黙想会」を行いました。8名の青年が参加し、日常から離れ、静かにイエスと向き合いました。

今回は「イエスとだけ、一対一で向き合う」ため、1日目の夕食後から2日目の午後のミサまで「沈黙」を守りました。講話は全体を通して2回で、祈るポイントやヒント、祈り方を学び、各々聖堂、自室などで、



静かにイエスと向き合い、イエスの前にいる自分を見つめました。参加者は「祈りとは、考えることではなく、心と心の交わりであり、すべての日常（読書、スマホ、他の祈りなど）を脇に置いて、イエスと本気で向き合うこと」という神父のお話どおりの体験をしました。

参加者は、それぞれ、イエスとは自分にとって誰か、イエスの前にいる自分は誰か、イエスは自分に何を望んでおられるのかなど、祈りの中で感じることができた2日間でした。

**（青年ではなく）盛年のための1泊黙想会 「わたしは弱いときこそ強いからです」****9月14日(日)～15日(月) 唐崎祈りの家**

「青年」ではなく、「盛年のための黙想会」を唐崎祈りの家において行いました。以前から行っている「青年のための黙想会」は、対象年齢が18歳から35歳ですが、「青年」の定義が曖昧なのと、昨今の若い人を取り巻く環境の変化などを考慮し、教会共同体の中で、取り残されがちな年齢層対象の黙想会を新たに企画しました。

新しい試みでしたが3名の参加があり、菅原友明神



父の指導で、テーマにそって6つの講話を聴き、黙想しました。6つの講話は、それぞれ聖書のみ言葉から構成され、菅原神父が読まれた本、観られた映画、身近なたとえを使って話され、講話の後40分の個人黙想をしました。イ・ウォンギョ神父も参加され、2日目の朝のミサをささげてくださいました。

琵琶湖の畔、静かで美しい景色を眺めながら、日々の喧騒から抜け出し、心もからだも静かにイエスと向き合えた恵みの2日間でした。

信仰教育委員会



教区神学生夏季合宿

9月5～6日 唐崎メリノールハウス

京都教区には、現在2人の神学生がいます。神学生が司祭になるためには、長い期間の養成が必要です。召命を感じて神学生の道を歩む決意をした彼らを導き育てることは、京都教区としての大きな使命です。

神学校の夏休みも終わりにさしかかった9月の始め、唐崎メリノールハウスにて、神学生の合宿が行われました。一泊二日の短い時間でしたが、大塚司教と神学生養成担当司祭、ほかにも忙しい中駆けつけてくださった司祭たちとともに、祈り、黙想し、分かち合い、ミサを捧げ、食事を共にしました。

「神学生が司祭になるためには、もちろん本人の努力が必要ですが、実は信徒の皆さんの祈りにかかっています」と、以前、ある司祭が話しておられました。彼らの歩む道の上に神の豊かな祝福がありますよう、どうぞお祈りください。

広報委員会



望洋庵×青年センター 北部巡礼企画 報告

8月23日(土)、望洋庵と京都カトリック青年センターの合同で、「そうや、夏やし北部行かへん？」という巡礼企画を実施しました！

約10名の青年と一緒に、聖年の巡礼指定教会である福知山教会と丹後教会宮津教会堂へ行きました。

福知山教会でも宮津教会堂でも、神父様と信者の皆様が温かく迎え入れてくださり、教会の歴史やこれからのことについてお話していただきました。

巡礼中は、道に迷ったり、はぐれてしまったりとハプニングはありましたが、最後のミサではみんながひとつになって「希望の巡礼者」を歌うことができました。

参加者から、「巡礼として教会に行って、様々な説明を聞くことは初めてだったので、良い経験になった」という声があり、普段から青年達が集っている望洋庵と京都カトリック青年センターが青年のための巡礼を企画して良かったなと思いました！

巡礼企画実施にあたって、ご協力くださった京都北部ブロックの皆様、ありがとうございました！

唐崎教会 池田瑠智亜



お知らせ

司 教

大塚司教の予定

最新の情報は京都司教区のホームページにてご確認ください。



教 区

京都教区 物故者祈念ミサ

11月2日⑩ 14:00 河原町教会

京都・チェジュ教区中学生平和学習

日 時：11月8日④～9日⑥

場 所：唐崎メリノールハウス

対 象：中学生

詳細は教区HPに掲載

病者高齢者奉仕講座

「介護から見える希望

ーとともに暮らすということー」

講 師：シスター井澤浩子（聖ヨゼフ修道会
会員・看護師・介護スタッフ）

日 時：11月11日⑩ 13:30

場 所：河原町カトリック会館大ホール

受講費：300円 申込不要

問合せ：福音宣教企画室 075-223-3336

fukuin@kyoto.catholic.jp

YES2025 教区青年の集い

11月22日④～23日⑥ 桃山教会

対象：18～22歳（高校生不可）

詳細は青年センターまで

広報委員会

教区時報1月号の原稿締切日は11月17日⑩です。

koho@kyoto.catholic.jp

大阪高松教会管区

戦後80年シンポジウム「宗教の戦争責任」

日 時：11月22日④ 13:30～16:30

場 所：河原町カトリック会館大ホール

問合せ：部落差別人権活動センター

075-223-3340 ⑩④⑥ 10:00～17:00

bukatu@kyoto.catholi.jp

小 教 区

パトリック・バーン司教帰天75年追悼ミサ

11月23日⑩ 10:30 高野教会

ベトナム共同体ミサ（聖アンデレ・ジュン・ラク司祭と同志殉教者）

11月23日⑩ 14:00 草津教会

河原町教会クリスマスチャリティーコンサート

日 時：11月30日⑩ 14:30開演（開場14:00）

出 演：合唱／河原町教会聖歌隊

パイプオルガン／桑山彩子

ソプラノ／橋本仁子

ヨシ笛・オーボエ／中木明日香

入場料：1,000円（収益は世界の子どものための支援活動に使われるカリタスジャパンのクリスマス募金に寄付します）

諸 団 体

京都カトリック混声合唱団

日 時：11月9日⑩ 14:00 聖歌練習

11月22日④ 17:30 練習後集会祭儀奉仕

団員募集中

場 所：河原町教会聖堂

問合せ：則武 隆 075-951-4283

コーロ・チェレステ（女声コーラス）

練 習：11月13日④ 10:00 27日⑥ 10:00

場 所：河原町教会2階楽廊

新会員募集中

問合せ：駒井和子 075-561-5971

聴覚障がい者の会・京都グループ

手話表現学習会（聖書と典礼）

日 時：11月18日④ 13:00～15:00

場 所：河原町教会地下ヴィリオンホール

問合せ：鎌田修 kamadaosamu@gmail.com

090-1967-5636

心のともしび

ラジオ番組案内（全国34局で放送）

11月の主テーマ「忘れられない人」

KBS京都 ⑩～⑫ 朝5:55

④ 朝5:15

ラジオ関西 ⑩～⑫ 朝5:35

⑥ 朝6:05

毎日放送 ⑩～⑫ 朝5:45

④ 朝4:55



カトリック京都働く人の家

読書会・遠藤周作「イエスの生涯」

日 時：11月9日⑩ 九条教会9時ミサ後

場 所：九条教会内働く人の家

対象者：どなたでも

問合せ：瀧野正三郎 090-8207-1831



皆さまのまわりに点訳版「京都教区時報」が必要な方がおられないでしょうか。点訳版「京都教区時報」をご希望の方がおられましたら、カ障連大阪フレンドリー点字部・笠松幸彦さんまでお申込みください。無料でお送りします。Tel・Fax/072-722-0271